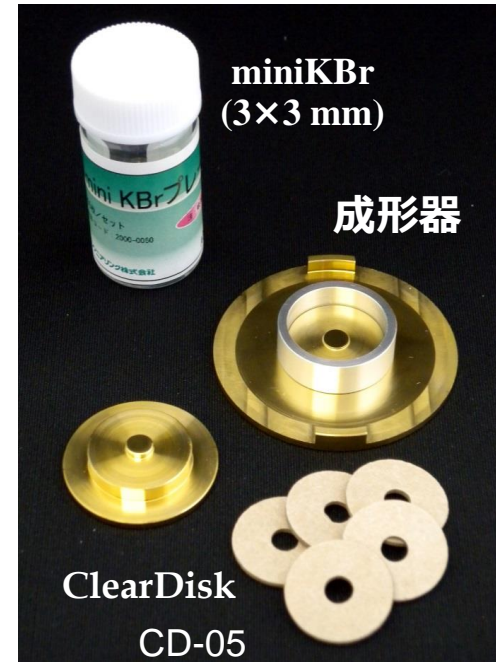
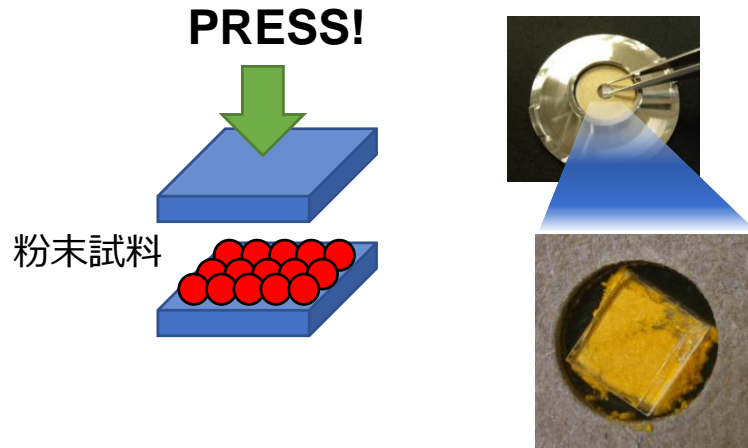


KBrプレート法の特徴とは？

標準測定の場合

【KBrプレート法】



(耐食コーティングタイプ)

試料をKBrプレートに挟んで
成形器 (TabletMaster) とハンド
プレスで加圧するサンプリング
方法です。

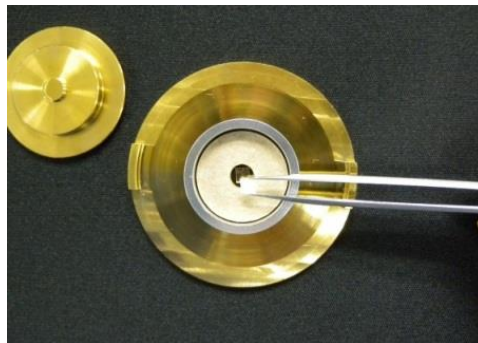


ハンドプレス iTP-8

KBrプレート法の特徴とは？ 標準測定の場合



1. アルミ箔の上に広げたサンプル粉末にminiKBrプレートを押し付ける。



2. 成形器にもう一枚KBrを置き、サンプルの付着したKBrを重ねる。



3. 押さえプレートを正確にかぶせてハンドプレスでプレスする。

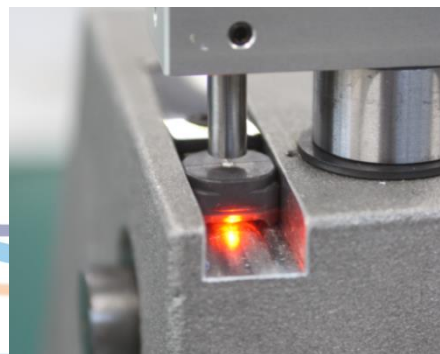
KBrプレート法の特徴

すり潰さないで・・・

KBrの吸湿を抑制

コンタミネーションを軽減

前処理時間が短縮



4. お知らせランプが点灯するまで加圧する。

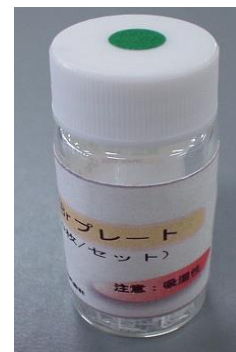
但し、散乱の影響を受けやすく本来の強度よりも弱くなることがあります。
定量的取り扱いを行う場合はご注意ください。

KBrプレート法の特徴とは？ 顕微透過測定の場合

顕微用サンプリングでは $\phi 8$ mmを推奨します



$\phi 8$ mm TabletMaster
(耐食コーティングタイプ)



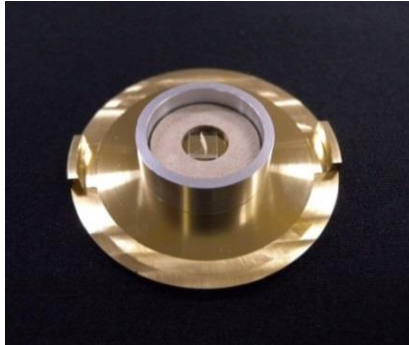
顕微赤外KBrプレート
(5 mm \times 5 mm \times 1 mm)



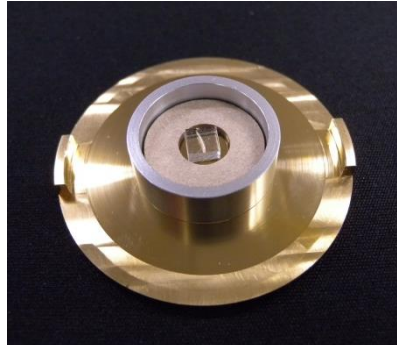
ハンドプレス iTP-8

KBrプレート法の特徴とは？ 顕微透過測定の場合

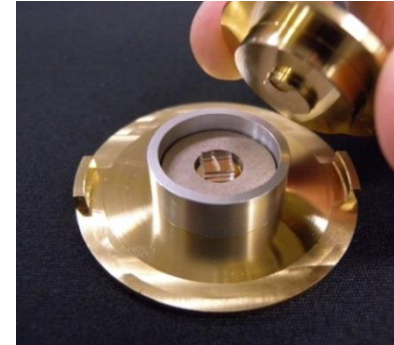
顕微測定の前処理(Φ8 mm使用)



1. 鏡面板の上に微小試料を載せたKBrプレートを置く。



2. さらにもう一枚KBrプレートを重ねる。



3. 押さえプレートを正確にかぶせる。



顕微測定でのKBrプレート法の特徴

面積が広くなる…アパーチャを広げられるので、S/Nの改善に

(KBrの屈折率は有機物とほぼ同じ
 $n=1.5$ のため)

干渉縞が生じにくい

散乱が生じにくい

4. ハンドプレスでランプが点灯するまで加圧する。